

ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻（博士前期課程）

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA001	経営基礎	4	1.0	1	春A	火7,8	BNK120	立本 博文, 佐藤 秀典	経営学の全体像を理論と実務を関連付けながら示した上で、経営戦略論と経営組織論の基礎概念と基本枠組みについて概説する。経営戦略論では、戦略の概念や競争戦略について学ぶ。経営組織論では、組織の概念や組織デザインについて学ぶ。	
01KA003	ファイナンス基礎	4	1.0	1					ファイナンスの基礎となる概念および手法について学習する。キャッシュフロー評価、正味現在価値に基づく投資戦略、リスク評価、資本構成、負債口配当政策など、より専門的な内容を理解するために前提となる知識を習得する。	2018年度開講せず。
01KA004	会計基礎	4	1.0	1	春A	金7,8	BNK120	中村 亮介	簿記と会計の基本について講義する。具体的には、日常の経済活動を会計的に記録することから始まり、決算を行って貸借対照表と損益計算書を作成する一連の作業の意義が理解できることを目標とする。そして最後に、財務諸表をどのような形で活かすか(財務諸表分析)を解説・実践する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA005	ビジネス数理	4	1.0	1	春A	木7,8	BNK120	伊豆永 洋一	ビジネス科学を学ぶために必要となる数理的な基礎知識や、ビジネス上の問題を数理的に取り扱うためのモデリングなどについて講義する。具体的な内容としては、論理、集合、ベクトルと行列、線形代数、関数、微積分などを、さまざまな例を題材に学ぶ。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA006	計算機科学基礎	4	1.0	1	春A	水7,8		大木 敦雄, 久野 靖	計算機による情報処理の原理について、基本概念と基本ソフトウェアの範囲を中心に学ぶ。キーワード：コンピュータのハードウェア、プログラムの動作原理、オペレーティングシステム、言語処理系、ファイルシステム、ウィンドウシステム。	教室:648計算機講義室
01KA007	ビジネスと情報	4	1.0	1	春A	土3,4		吉田 健一, 津田 和彦, 大木 敦雄, 倉橋 節也	今日のビジネスシーンにおいて、情報や情報技術がどのように関わって来るか、情報や情報技術がビジネスにどのような形でプラスやマイナスの影響を与え得るか、ビジネス側から情報や情報技術に対してどのような知識を持ち、どのような姿勢でアプローチすべきかについて、さまざまな切り口から取り上げる。	Lecture Room:648 Tokyo Campus

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA101	トプレクチャーI	1	1.0	1・2	通年	集中			民間企業、教育・研究機関、官公庁、国際機関等のトップ・マネジャーを講師に迎えて、現実の企業や社会システムにおける諸問題の解決方法やトップマネジメント戦略の構築並びに実践方法などについての講義を行う。	西暦偶数年度開講。主専攻必修科目。詳細後日周知
01KA102	トプレクチャーII	1	1.0	1・2					トプレクチャーIに続いて、民間企業、教育・研究機関、官公庁、国際機関等のトップ・マネジャーを講師に迎えて、現実の企業や社会システムにおける諸問題の解決方法やトップマネジメント戦略の構築並びに実践方法などについての講義を行う。	西暦奇数年度開講。主専攻必修科目。詳細後日周知
01KA103	ビジネスゲーム	4	1.0	1	春C	土2,3		倉橋 節也, 猿渡 康文, 中村 亮介	企業経営を、企業戦略、調達、生産、マーケティング、会計等の諸機能分野から構成されるシステムとして理解し、情報の収集・分析を通して、総合的視点から経営の意思決定を論理的に行う能力を修得する。	教室:648計算機講義室
01KA105	消費者行動	4	1.0	1・2	春B	水7,8	BNK120	西尾 テヅル	マーケティング戦略上の諸課題との関連性を意識しつつ、マーケティング対象となる市場を構成する消費者の嗜好構造や行動を分析するための枠組み、方法に関する代表的な理論やモデルを概説する。具体的には、消費者行動を規定する外部環境要因、個人差要因、認知・態度・行動などの購買意思決定プロセスなどに関する研究成果を検討し、消費者行動の測定方法や分析アプローチを学習すると共に、事例などを通じて、企業の具体的なマーケティング戦略への展開方法を議論する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA106	現代マーケティング論	4	1.0	2	春A	金7,8	BNK116	西尾 テヅル	地球環境問題への対応、CSR、顧客関係性の構築等、現代マーケティングにおける重要なテーマを取り上げる。具体的には、法規制、市場構造、競争環境等、企業のマーケティングをとりまく社会環境の変化を整理すると共に、市場構造や競争環境を分析するための枠組みや方法に関する代表的な理論やモデルを概説する。その上で、企業のマーケティングのあり方と展開方法について議論を行う。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA107	マーケティングリサーチ	4	1.0	1・2	春C	水7,8	BNK120	佐藤 忠彦	マーケティング意思決定における諸問題を、市場や顧客に関するデータと論理に基づいて科学的に捉えるための基本的な考え方と具体的な方法を概説する。講義では、市場や顧客データの収集や分析、伝達といったマーケティングリサーチ技法について説明する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA109	マーケティングサイエンス	4	1.0	2	春A	水7,8		佐藤 忠彦	マーケティング意思決定における諸問題を、市場や顧客に関するデータを用いて科学的に捉えるための技術について学ぶ。特に、統計的手法を用いたマーケティングデータの解析法を解説し、その内容に関して実際に演習してもらうことで、マーケティングにおけるデータ分析の実際を体得してもらう。	教室:649計算機講義室
01KA110	ブランドマーケティング	4	1.0	1・2	通年	集中			ブランドは、現代マーケティングにおける重要な概念の1つです。しかし強いブランドをつくるにはどうしたら良いかについて、的確に理解をされている方は必ずしも多くありません。そこでこの講義では、現代ブランド論の大意を説明することによって、ブランド・マーケティングに関する基礎的な知識を身につけることを目指していきます。	
01KA111	サービスマーケティング	4	1.0	1・2	通年	集中			近年、経済のサービス化が進み、サービス財のマーケティングの重要性が高まっている。本講義では、サービス財の特性を考えながら、モノの財から始まったマーケティングをサービス財に適用するための考え方や課題を整理すると共に、実際の事例を通じてサービスマーケティングの分析枠組みや展開方法について概説する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA114	経営戦略論	4	1.0	1・2	春C	火7,8	BNK120	立本 博文	経営戦略論の基礎的な内容について学習する。加えて、技術戦略や競争戦略に関する主要理論・概念および分析フレームワークについて検討した上で、最新の理論について概説する。	
01KA115	経営組織論	4	1.0	1・2	春B	火7,8	BNK120	佐藤 秀典	我々の生活は組織抜きでは考えられないほど、現代社会における組織の影響は大きい。この講義では組織のマネジメントに関する主要な理論を取り上げる。本講義ではそれにより、自ら組織を分析しようとするときにそれぞれの理論が組織のどのような面を理解するのに有効であり、どのような面で限界があるのかを理解して活用できるようになることを目的とする。	
01KA118	組織文化とリーダーシップ	4	1.0	1・2	夏季休業中	集中			近年、企業を取り巻く環境は激しく変化してきている。その中で企業が存続・成長していくためには、経営組織の絶えざる革新を断つてはならない。そのためには何をなすべきか。本講義では、組織文化やリーダーシップを主な切り口として、関連する国内外の文献を輪読し、理解を深める。	
01KA120	人的資源管理	4	1.0	1・2	秋A	木7,8	BNK120		HRM理論を概観した後、HRM実践が組織構成員や組織パフォーマンスにどのような影響を与えるのかを実証的に明らかにする。具体的には、個人々人への影響としては組織コミットメントやコンピテンシー等の内容を取り上げ、組織パフォーマンスの観点からは、ベストプラクティスや人的資源管理施策間の相互補完性や相乗効果の有効性を考察する。	
01KA123	コーポレートファイナンス	4	1.0	1・2	通年	集中			ファイナンスの基礎的理論をベースとし、コーポレート・ファイナンスにおける重要な課題を分析。あるいは具体的な解決方法を提案するスキルを習得することを目指す。具体的には、資本予算の問題、投資案件の評価、資本構成の決定、配当政策、企業の財務的再構築、企業買収・合併などをテーマとして扱う予定である。	
01KA125	インベストメントサイエンス	4	1.0	1・2	夏季休業中	集中		山田 雄二	インベストメントサイエンス分野におけるポートフォリオ最適化理論の基礎と周辺数学について解説する。平均分散ポートフォリオ最適化に始まり、資本市場価格付けモデル(CAPM)や投資家の期待効用を導入し、投資意思決定に必要なツールの基礎を習得する。	教室:649計算機講義室 実施日:9月土曜日2日間開講
01KA126	ファイナンス工学	4	1.0	1・2	秋A	金7,8	BNK120	山田 雄二	ファイナンス工学分野におけるデリバティブ理論の概要および価格付けの基本概念を導入し、デリバティブを用いた取引、無裁定価格理論、ヘッジ戦略について解説を行う。さらに、これらの理論や手法について、実際に計算機を使ってシミュレーションを行う。	教室:649計算機講義室
01KA132	管理会計	4	1.0	1・2	通年	集中			企業の中で原価を計算し、あるいは予算を作成し様々な分権化された組織や個人をコントロールする活動は、「マネジメント・コントロール」と呼ばれており、管理会計とほぼ同義のものとして考えられてきた。本講義では、マネジャーを想定してこのマネジメント・コントロールを実行するための組織的側面、会計計算的側面、そして統計分析的側面の3つの能力を解説し、それらを身につけることを目指す。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01KA135	財務会計		4	1.0	1・2	秋A	火7,8	BNK120	中村 亮介	近年、国際的な企業会計制度の変革はめざましい速度で進行している。この流れで、わが国の企業会計もその根幹から変わろうとしている。本講義は、このような状況のもとで、財務会計の個別論点(金融商品会計、リース会計、税効果会計、連結会計など)について学習し、企業の経営成績・財政状態およびキャッシュ・フローの状況を表す財務諸表の何が異なり、また何が異ならないのかを学ぶことを目的とする。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA139	技術経営論		4	1.0	1・2	秋C	火7,8	BNK120	立本 博文	技術経営論は、製造業の国際競争力の低下を契機に、現実の要請から生まれた学問領域である。その内容は、製造業における多様な経営上の問題に対して、実務的・現実的な解法を探ることにある。競争力獲得のためには、どのような戦略(もしくは戦略的思考)が必要なのかを学習する。本講義では、主にイノベーション、オープン化・標準化、デジタル化、グローバル化とビジネスモデルについて、講義と輪読を組み合わせる形で学習を行う。	
01KA142	最適化モデル		4	1.0	1・2	秋A	水7,8	BNK120	猿渡 康文	ビジネス上の様々な問題を科学的に捉え、解決する見方・態度を養うことを目的として、問題を解決するための「科学的な意思決定方法」について学ぶ。特に、最適化に焦点を当て、その基本的なモデルである線形計画モデルを中心に、数理的なものの見方や計画法を計算機ソフトウェアを利用しながら体得する。	教室:648計算機講義室 使用もある。詳細は担当教員より確認のこと。
01KA144	ロジスティクスとサプライチェーン		4	1.0	1・2	秋B	金7,8	BNK122	猿渡 康文	ロジスティクスやそれを包含するサプライチェーンに関わる諸問題を科学的な視点で捉え整理し、それらの問題を解決するためのモデル化と解決方法について講義する。特に、ロジスティクスやサプライチェーンの計画立案の場で生じる意思決定問題を取り上げ、線形計画、ネットワーク計画、整数(組合せ)計画といった理論や手法を、事例をもとに議論する。	122講義室 詳細後日周知
01KA147	データ解析		4	1.0	1・2	春B	木7,8	BNK120	尾碕 幸謙	様々なビジネスデータを分析するための統計の基礎を学習する。データの分類・要約・可視化、基本統計量、回帰分析、統計的検定や推定の考え方、及び分析結果の解釈などについて、講義と実習を交えながら学習する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA149	多変量解析		4	1.0	1・2	春C	金7,8	BNK120	尾碕 幸謙	ビジネスデータとしてよく現れる多変量データを分析するための方法として主成分分析、因子分析、判別分析、クラスター分析、数量化などの手法とそれらを利用した分析例について、講義と演習を通して学ぶ。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA151	計量経済学		4	1.0	2	春B	水7,8	BNK116	牧本 直樹	経済・金融や経営などの分野におけるさまざまなビジネスデータを分析するための統計手法として、重回帰モデル(系列相関、不均一分散、一般化最小二乗法、同時方程式モデル)、時系列分析、パネル分析などについて、講義と演習を通して学ぶ。《ビジネス数理、データ解析、多変量解析、オペレーションズリサーチ》	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA155	統計モデル		4	1.0	1・2	秋B	木7,8	BNK120	尾碕 幸謙	現在、社会科学諸分野で共分散構造分析(構造方程式モデリング)が広く使用されている。共分散構造分析は回帰分析や因子分析など各種多変量解析をその下位モデルとして包含しており、多変量解析に関する理解を深める意味でも学ぶ意味がある。本講義の内容は、共分散構造分析の理論と実践であり、データ解析実習を繰り返すことで知識を深めていく。また、共分散構造分析のみならず他の統計モデルについても扱う予定である。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA158	システム・ソフトウェア開発特論		4	1.0	1・2	通年	集中			システム開発、ソフトウェア開発に関連するテーマを対象とし、基盤的な知識、実務的な観点からの知見、新しい学術成果などの範囲からトピック単位で取り上げて構成する。進め方については、講義・演習・実習などを適宜柔軟に組み合わせて実施する。	
01KA159	オペレーションズ・マネジメントI		4	1.0	1・2	通年	集中			他の講義では取り上げないオペレーションズ・マネジメントに関する先端的あるいは発展的なトピックについて、学内外の講師が講義を行う。	
01KA162	オブジェクト指向プログラミング		4	1.0	1・2	秋A	火7,8		大木 敦雄	現在の世の中におけるソフトウェア開発の主流技術であるオブジェクト指向プログラミングについて、Java言語によるプログラミング実習を通じて原理と実際の両面から理解する。キーワード: クラス、インスタンス、インタフェース、継承、ポリモルフィズム。	教室:648計算機講義室

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA163	情報セキュリティ	4	1.0	1・2	秋B	火7,8	BNK652	大木 敦雄	今日では情報を扱うにはコンピュータシステム/ネットワークなしには考えられない。まずコンピュータシステム/ネットワークセキュリティの視点から要素技術を概観し、それらがセキュリティにおよぼす影響を考える。キーワード:暗号, 認証, PKI, コンピュータウィルス, フィッシング, 安全性, 完全性, 可用性。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. 西暦偶数年度開講。
01KA164	人工知能とビジネス情報分析	4	1.0	1・2	秋B	水7,8		倉橋 節也	ビジネス情報分析に人工知能技術を適用することで、様々な可能性が開ける。本講義では、人間の知的行動を基礎とした人工知能を用いたビジネス情報分析手法の基礎理論・応用手法を学ぶ。具体的な内容としては、(1)探索問題、(2)パターン認識、(3)学習と推論、(4)最適化アルゴリズムなど、の基礎を学ぶ。これらの技術をビジネス課題などに適用し、分析・解決のための演習を行う。主として、Rを用いた演習を行う。プログラミングや計算機システムの経験は問わない。自分のPCを持参すること。キーワード:探索、パターン認識、クラスタリング、学習、進化的アルゴリズム	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA165	データマイニング	4	1.0	1・2	春B	金7,8	BNK116	吉田 健一	代表的なデータマイニング・機械学習の手法について演習を交えながら基礎的な概念を学ぶ。具体的な内容としては、Decision Tree Learning, Artificial Neural Networks, Bayesian Learning, Association Rule Learning, SVMなど。01KA166と合わせて受講する事で、ネットワーク上のデータをどのように収集し、分析すればビジネスに役立つ知見を抽出できるかを習得する事を目的とする。01KA165では、この目的に対して基礎的な分析技術を学ぶ。	
01KA166	インターネットとビジネス情報分析	4	1.0	1・2	秋A	土5,6	BNK120	吉田 健一	インターネット関連のビジネスを進める上で必要な各種事項について基本的な考え方を学ぶ。具体的な内容としては、TCP/IPやWWWなどネットワークに関する基本的技術と、WWWを使ったマーケティングとデータマイニングの関係など。01KA165と合わせて受講する事で、ネットワーク上のデータをどのように収集し、分析すればビジネスに役立つ知見を抽出できるかを習得する事を目的とする。01KA166では、この目的に対してデータ収集技術の基礎を学ぶ。	
01KA168	テキストマイニング	4	1.0	1・2	春C	木7,8		津田 和彦	インターネットなど爆発的に増加する情報量の中から必要な情報を探し出すことは、キーワード検索のみでは困難である。そのため、分野分類、概念検索、更には意図理解など、高度な検索技術が開発されつつある。本講義では、様々な高度検索技術の基礎となるアルゴリズムについて紹介する。	教室:648計算機講義室
01KA172	社会シミュレーション	4	1.0	1・2	春C	土5,6		倉橋 節也	新しいシステム科学として、マルチエージェント技術を用いたシミュレーション手法が注目を浴びている。近年、この手法を用いて、様々な経営課題や社会問題に適用し、多くの成果を上げてきている。本講義では、自律性と相互作用を考慮するエージェントモデルの基礎から、経営戦略モデルや市場制度設計などへの応用までを学ぶ。また、人とエージェントが参加するゲーミングシミュレーションへの発展も行う。演習を通し、実際にモデルを作成し動かすことで、実践的な経営シミュレーション手法を習得することを目標とする。履修にあたって、特に計算機システムやプログラミングの経験は問わない。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA177	知的経営システム	4	1.0	1・2	通年	集中			最新の知識発見技術やデータ分析技術を利用して、経営分析や経営意思決定を行う知的経営システム手法を事例とともに紹介する。ビジネスにおける様々な事象から価値を発見しイノベーションへと導く方法や、大量のテキストデータ・SNSデータなどから社会現象を分析する手法、また社会経済現象をシミュレーションする手法など、最新のトピックを交えながら、新しい知的手法の可能性と限界について議論する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA180	社会調査法	4	1.0	1・2	秋B	金7,8	BNK120	加藤 毅	現実社会の動向を把握する上で社会調査自体の有効性は広く認知されているが、その技術的な側面についてはあまり知られていない。講義では、アンケート調査における質問紙作成上の技術に加えて、その前段階である質的調査の方法、そこで収集されたデータの統合(KJ法)と仮説モデル構築の方法などについて、豊富な事例を通じて理解を得ることを目的とする。	Medium of instruction is Japanese.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA181	非営利組織マネジメント	4	1.0	1・2	春B	金7,8	BNK120	加藤 毅	政府・市場の失敗を受け、非営利組織に対する期待が高まりつつある。講義では、わが国における非営利セクターの全体像および国際的な動向を踏まえた上で、非営利組織の経営について理論的に読み解くことを目的とする。その上で、非営利組織の発展をもたらす新たな社会的価値や、非営利組織が直面する経営課題等について検討を行う。	Medium of instruction is Japanese.
01KA182	経営戦略・組織特論	4	1.0	1・2	通年	集中		立本 博文	経営学の分野における最近のテーマについて、学内・学外から講師を招き、多面的な視点で講義を行う。戦略的な企業間関係、コーポレートガバナンスの変化が経営組織にあたる影響、事業のサービス化をベースとした企業モデルの構築、などのテーマを予定している。	
01KA183	知識・情報技術特論	4	1.0	1・2	通年	集中			今日の企業活動において、情報が生み出す付加価値は、以前よりその重要性を格段に増している。情報は、誰でも自由に利用できる性質を持つが、模倣が蔓延すると、創作のインセンティブが失われてしまう。そこで、新たな情報創作のインセンティブを与えるために、一定の権利を与えて保護する制度が知的財産権制度である。本講義では、企業が活動していく中で創生される知的財産(特許、商標、著作権など)を、どのように保護し活用していくかを論ずる。また、ICT企業の知財戦略、ICTビジネスに関わる著作権や知財契約についても取り上げていく。	教室:649計算機講義室
01KA184	人材育成論	4	1.0	1・2	秋A	土3,4	BNK120	佐野 享子	ビジネスの現場で高度な専門性を発揮し、リーダーとして活躍しうる人材をいかに育成するかをテーマとします。今日企業で実施されている人材育成(HRD)の実践のいくつかには、心理学等を基盤として発展してきた成人学習の理論に基づく原理を、その根底に看取することができます。この授業では、成人学習の理論をベースに、人材開発や組織開発に関する理論をてがかりとして、企業における人材育成の今日的あり方について再考するとともに、人材育成の原理に関する理解を深めることをねらいとします。論文の執筆に役立つよう、質問紙法、事例研究法、実験法をそれぞれ用いた研究論文の購読を毎回の事前課題とし、批判的な検討を進めていきます。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA185	企業ガバナンスとマネジメント	4	1.0	1・2	秋C	土5,6			企業における株主総・取締役会・経営会議・ディスクロージャー等に関する実務経験を通じ、企業ガバナンスの現状と課題を概説する。併せて、日本経済の長期停滞や社会の閉塞感の背景として考えられる組織パフォーマンスの低下という問題を取り上げ、課題解決能力を高めるための組織マネジメントのあり方を検討する。更にガバナンスとマネジメントの問題を総合し、企業とは何か、国際競争の下で日本企業の経営はいかにあるべきかについて討議する。	1/26のみ119講義室
01KA188	会計情報分析	4	1.0	1・2	秋B	土3,4	BNK120	中村 亮介	近年のわが国では、企業価値を意識した経営を求められることが多くなっている。そこで本講義では、どのような原理で企業価値が評価されているのかを確認し、その企業価値を戦略的に高めるにはどのようにしたらよいのかを主に会計の視点から議論する。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA189	テキスト処理	4	1.0	1・2	春B	火7,8		大木 敦雄, 久野 靖	計算機によるデータ収集・分析の前段階として必須であるテキストの抽出・整形処理や、データ保管に用いられるデータベースの概念・機能などについて、実際のプログラミング言語による実習を交えて学ぶ。	教室:648計算機講義室
01KA192	事例研究法	4	1.0	1・2	通年	集中			授業概要:経営学では、統計分析とならんで事例分析が広く研究手法として利用される。しかし、多くの事例研究は適切な研究デザインに基づかず実施されており多くのバイアスを含み、明確な結論を出せないことが多い。本講座では、複数の事例研究法のデザインを学ぶことにより、事例研究法がもつ長所とその限界について学ぶ。	
01KA194	機械学習と最適化	4	1.0	1・2	秋C	金7,8		伊豆永 洋一	本講義では、機械学習やデータマイニングにおける代表的な手法を通して、最適化理論の基本的な概念について述べる。理解を深めるために、PythonやRを用いた演習を行う。また、可能な限り、実社会での応用例についても紹介する。	教室:648計算機講義室
01KA501	応用統計	4	1.0	1・2	秋C	木7,8	BNK122	伴 正隆	中級以上の統計手法の中からいくつかのトピックを選び、実際のデータ解析事例に触れながら講義する。トピックの例としては、ベイズ統計、傾向スコア分析、数量化理論、欠測データ解析、縦断データ解析などが挙げられる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA502	オペレーションズ・リサーチ	4	1.0	1・2	秋C	水7,8	BNK120	牧本 直樹	オペレーションズ・リサーチのさまざまなトピックや応用の中からテーマを選び、基盤となる理論やモデル、ビジネスでの応用事例などを解説する。テーマ例としては、モンテカルロシミュレーション、時系列予測、マルコフモデル、待ち行列など。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details.
01KA504	プログラミング	4	1.0	1	春B	土3,4		津田 和彦	プログラミング未経験者を対象として、プログラミングの概念を学ぶと共に、基本的なソフトウェア構築が行えるようになる。プログラミング入門、プログラミングの概念、ソースプログラム、コンパイル、実行プログラム、変数と式、入力と出力、ループと制御構造、アルゴリズムの概念、基本的なアルゴリズム、アルゴリズムの正しさ、など。	教室:648計算機講義室
01KA505	マーケティング	1	1.0	1・2	秋A	木7,8	BNK120	伴 正隆	本講義はMBA学生として学んでおくべきマーケティングの基礎概念と基本枠組みについて概説する。本講義では、初めに消費者行動データを解析するための適切なアプローチとツールを学習し、次にそれら解析結果を実際のマーケティング戦略へ活かすための考え方を学習する。	
01KA506	組織変革	1	1.0	1・2	秋B	火7,8	BNK120	佐藤 秀典	変化する環境に対応するため、組織も変化的ことが求められる。しかし、組織には変化を妨げる様々な要因が存在する。また、変化を意識しすぎると、自らの強みを見失ってしまうことも少なくない。本講義では、組織が変化しなければいけない理由、変革の妨げとなるものは何か、何をどう変えて何を達成すべきではないのか、変革における経営者の役割はなにかといった観点から組織変革について検討し、組織変革を様々な面から理解することを目的とする。	

研究科目(経営システム科学専攻)H25年度以降入学者

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA241	経営システム科学研究・春I	2	1.5	1	春A 春B	土5 土5,6		立本 博文, 中村 亮介, 大木 敦雄, 津田 和彦, 伴 正隆, 伊豆永 洋一	1年次の春学期に行われるセミナー形式の授業で、学生と教員のディスカッションを通して研究方法の基礎を学ぶとともに、各自の研究計画を再検討する。	教室:春Aは120講義室(※5/19のみ122講義室)、春Bは116講義室及び120講義室(※6/9のみ116講義室及び432会議室) 平成25年度以降入学者対応科目
01KA242	経営システム科学研究・春II	2	1.5	2	春ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の春学期に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA243	経営システム科学研究・秋I	2	1.5	1	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	1年次の秋学期に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA244	経営システム科学研究・秋II	2	1.5	2	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	2年次の秋学期に行われるセミナー形式の授業で、指導教員の下で学生各自の研究テーマに関連する既存の研究のサーベイと研究方法の習得を目標とする。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA245	経営システム科学特別研究・春I	2	1.5	1	春ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の春学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究・春I, IIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA246	経営システム科学特別研究・春II	2	1.5	2	春ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の春学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究・春Iを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA247	経営システム科学特別研究・秋I	2	1.5	1	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の3回目の秋学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学研究・秋I, IIを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目
01KA248	経営システム科学特別研究・秋II	2	1.5	2	秋ABC	随時		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講する科目で、休学などの理由で卒業年限を延長した場合の4回目の秋学期を迎えた学生を対象とする科目であり、経営システム科学特別研究・秋Iを既に履修している学生に対して、指導教員の下で、各自の研究テーマに関連する学習を行う。	平成25年度以降入学者対応科目

輪講科目(経営システム科学専攻)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA355	経営システム科学輪講I	2	1.0	1・2	春ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪談する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01KA356	経営システム科学輪講II	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA357	経営システム科学輪講III	2	1.0	1・2	春ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA358	経営システム科学輪講IV	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA359	経営システム科学輪講V	2	1.0	1・2	春ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	春学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	
01KA360	経営システム科学輪講VI	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		経営システム科学専攻各教員	秋学期に開講し、経営システム科学の先端的な理論や分析手法、事例に関する著書および論文等を輪読する。	